

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年9月10日

【事業所概要(事業所記入)】

| | |
|---------|------------------------------------|
| 事業所番号 | 4671500090 |
| 法人名 | 医療法人一桜会 |
| 事業所名 | さくらのお家よしだ |
| 所在地 | 鹿児島市東佐多町269-2 (電話) 099-245-5500 |
| 自己評価作成日 | 平成29年8月5日 |

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.wam.go.jp/ |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|---------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人NPOさつま |
| 所在地 | 鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号 |
| 訪問調査日 | 平成29年8月25日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様がご自分のペースで日々健やかに生活して頂けるよう日々努めております。特に力を入れている点ですが、季節を感じての生活を送っていただけるよう努め、季節に応じた活動を利用者様にも参加して頂いています。例えば、らっきょ漬け、梅干作りなど一緒にお手伝いして頂き、花見、節句、七夕飾り、敬老会、クリスマス会、おせち作り等など・・・他のグループホームも行っていると思いますが、昔から敬称されている行事ごとを大切にしております。これらの事が自然な事として生活することで利用者の方々には嬉々とした表情で参加して頂いています。それに加え、当ホームは庭がとても広い事がアピールできます。広い庭でお茶会やご家族、地域の方々や夕涼み会などホーム内とは違った雰囲気を楽しんで頂いています。また、当ホームは景色がとても良く、社交場であるリビングのソファから居ながらにして見える窓からの景色は大パノラマのようです。田んぼの様子だけでも季節を感じられます(春にはれんげの花・田植え・青く育つ稲・黄色く育つ稲穂・稲刈り)季節の話題には事欠きません。毎年クリスマス前にはイルミネーションを建物外部に飾り付けています。点灯すると「綺麗だね」と大変喜ばれています。天気の良い日には庭に散歩に行き庭にある畑で野菜を見たり時期の花を見て喜ばれています。利用者の皆さんがユニット名のごとく、ゆったり、のんびりと過ごして頂けるように支援に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

市郊外に位置し緑豊かな自然環境の中、自慢の園庭で利用者は四季折々の季節を感じ、ユニットの名前の如く、ゆったりとのんびりと日々をすごしている。法人母体の医療機関は他にもグループホーム・小規模多機能ホーム・通所リハビリテーションまた居宅介護支援事業所を運営し、地域への貢献度は高い。ホームは地域の自治会に加入し自治会活動の清掃作業へ積極的に参加したり、地域行事の鬼火焚き見学にでかけたりと地域住民との交流が行われている。また職場体験のボランティアの受入れも行ったりと、地域とつながりながら暮らし続けられるように日常的な交流は出来ている。また地域の地域密着型サービス事業所で「ひっちこ会」という連絡協議会を立ち上げ、地域貢献中である。法人の医療機関とは24時間体制で協力関係が築かれており往診や看護師の訪問など、利用者や家族の安心に繋がっている。管理者や職員は、利用者の思いや意向、また日々の変化等の把握に努め、家族と連携し基本理念を念頭におき、日々のサービスに反映させ、利用者本位のより良い支援にと取り組んでいる。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている | 基本理念は常に念頭に置き地域活動として、福祉フェスタ参加や地域のサロンに積極的に参加し、実践につとめている。 | 法人共通の理念と地域密着型サービスの意義を踏まえたテーマを基に、職員は日々のケアで理念を念頭に意識しながら実践に繋げている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 今年度より自治会に参加し、避難訓練へも地域の方に参加いただくようにしている。 | 地域との交流は以前よりあったが、自治会へは今年度加入した。奉仕活動への参加や幼稚園の運動会・鬼火焚き見学など地域の行事へも参加している。また職場体験やボランティアの受入れも行っている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている | 吉田地域の地域密着型サービス事業所で「ひっちこ会」という連絡協議会を立ち上げ、地域貢献の為に活動中である。 | / | / |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 今回実地指導があり、会において報告をした。 | 定例化した会議には行政・民生委員・幼稚園長・家族の参加で、状況報告や行事報告を行っている。出来るだけ多くの家族の参加が得られるように家族会時に運営推進会議を開催する事を検討予定である。報告や参加者からの意見はサービス向上に繋げている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5 | 4 | <p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p> | <p>困難事例など包括の協力を得ながら解決に向けて動いている。又、運営会へも参加いただいている。</p> | <p>日頃より連携を図り、協力関係を築くように努めている。相談・報告に対して助言対応してもらうなどの連携を図りサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> | |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>身体拘束をしている方が一人おり、今後拘束しない方向でのケアを実践していく。</p> | <p>日中は玄関や居室の施錠は行わず安全に配慮し見守りを徹底している。法人で身体拘束委員会を設置し研修を行っている。現状では身体拘束をしている方はいない。職員は情報交換や勉強会などで理解し、日々のケアの中でも意識して支援に努めている。</p> | |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>年1回は虐待について部署の会議で話し合う機会を作っている。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p> | <p>今回は日常生活自立支援事業について部署の会議において話し合った。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>契約時や改定の際は口頭で文面の内容説明を行い不安や疑問点を軽減出来る様に努めている。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>家族会等で意見や要望を述べる機会を作り、要望をお聞きし運営に反映させている。面会時など話しやすい環境作りにも努めている。</p> | <p>日常の面会時や電話連絡時また年1回の家族会で家族からは意見、要望を聞き出すように努めている。出された意見・要望については職員間で話し合っサービスとの質の向上と運営に反映させている。</p> | |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>毎月の主任会やミーティング等で職員の意見を述べる場を設け反映させている。</p> | <p>朝夕の申し送り時と全員参加の毎月のミーティング等で意見交換や勉強会等を行っている。出された職員の意見・要望は可能な限り運営に反映させるようにしている。</p> | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p> | <p>今年4月より処遇改善加算Ⅰを開始し、給与面における環境を改善している。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 13 | | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>法人による研修計画もあるが、部署内において認知症ケアの勉強会を担当し、自ら調べるようにしている。</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>年間行事の中で焼肉会や忘年会を通じて職員同志の交流を図るようにしている。また、サービスの質向上のため法人における研修も実施している。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>ご本人との面会を通じ本人の希望に耳を傾け安心して生活を確保できる体制づくりに努めているご本人の要望が出しやすくなる様に環境作りに配慮している。</p> | | |
| 16 | | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p> | <p>家族との信頼関係作りが利用開始に必要な不可欠な事と認識しており、納得して頂けるようコミュニケーション作りに努めている。ご家族もサポートして行けるよう来訪時は話のしやすい雰囲気作りに努めている</p> | | |
| 17 | | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>入居前に出来る限り、ご本人ご家族のニーズを把握出来る様に関係部署との連携に努め情報収集を行いご本人、ご家族との面談に活かしている。</p> | | |
| 18 | | <p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p> | <p>職員は、日々の暮らしの中で、その方の出来る事を把握し、自然な形で関わりで、対話に努めその方らしさが発揮出来る様に配慮している。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | <p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p> | <p>誕生会や行事等で一緒に過ごせる時間を作っている。また、外出、外泊が気軽に出来るように家族との連携を大切に共に本人を支えていく関係を築いている。</p> | | |
| 20 | 8 | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p> | <p>ご友人、親戚、馴染みの方などが面会に気軽に来れる環境作りに努め、地域のサロンへも出かけている。</p> | <p>家族の協力で以前行っていたデイサービスに行かれる方もいる。地域出身の利用者には地域行事に参加して馴染みの人と場との関係が途切れないように支援している。</p> | |
| 21 | | <p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p> | <p>職員は、常に利用者間の関係を把握し、トラブルを未然に防ぐ努力をして、コミュニケーションのサポートを行いお互いが楽しく生活出来る様に努めている。</p> | | |
| 22 | | <p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p> | <p>一旦退去されても、再入居が可能であることを伝え希望に沿うようにしている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日常生活の中や個別で接する時間の中で自然な会話の流れで思いや願いを表出できる環境を作り自己決定に向けた支援に努めている。 | 日常の会話の中から思いや意向を把握し、困難な場合は表情や言動、家族からの情報などから本人本位に検討している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご家族や本人との会話の中で生活歴や馴染みの暮らし方の把握に努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 月1のミーティング等で情報交換を行い、一人ひとりの日々の過ごし方や気持ちによりそう等に努めている。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 家族との連絡を密にして、同時にスタッフによるカンファレンスモニタリング等を日々行い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状を把握した介護計画を作成している。 | 利用者及び家族の生活に対する意向を聞き現状に即した介護計画ではあるが、家族の役割を明記し共有できていないので見直しを行っていく方向である。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の様子やケアの実践、気づき等は、業務日誌や個別ケア記録に記入している。スタッフ間の情報共有、ケアプランの見直しに活かしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズには、対応しているが、多機能化出来ているとは言えない。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 吉田文化祭に作品出展したり、地域の鬼火焚き参加等地域の方々との交流、またその事を話題に取り入れるなど豊かな暮らしに繋げている。また地域住民の方々との交流の場として夕涼み会の参加の声かけも行っている。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | それぞれの利用者の方がかかりつけ医をお持ちでスタッフは医師との連携を図りながら適切な医療を受けられる様支援している。（全員月2回の往診有り） | 利用者や家族の希望するかかりつけ医の受診が継続できるように支援している。協力医療機関とは緊急時における適切な指示対応などで24時間連携が図られている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>毎朝の状態報告週3回の医療連携体制により適切に支援を受けられる体制をとっている。</p> | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p> | <p>入院時は速やかにホームでの生活状況を情報提供し、他職種との連携を図り安心した入院生活が出来る様に努めている。</p> | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>入居の段階で重要事項説明書の中で重度化に対する指針、看取りに関する指針を説明し、その時には十分な話し合いが必要であることを説明している。月1回の看取りの話し合いを実施している。</p> | <p>重度化や終末期に向けたホームの指針を作成し、入居時に説明して終末期における家族の思いや意向も聞いている。職員も研修や勉強会を重ね、本人・家族の意向に沿った最大限の支援に取り組んでいる。</p> | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>事故発生、急変に備え基本的な流れはマニュアル化する事で戸惑う事がないようにしている。誤嚥についての訓練を実施した。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>防災マニュアルを作成している。地域の方より緊急避難場所としての協力を頂いている。</p> | <p>年2回昼夜間想定で避難訓練を行っている。地域との関わりの中地元消防団との協力関係が築かれている。スプリンクラーの設置また備蓄も確保されている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 一人ひとりの人格を尊重し言葉かけ等、その人のプライドを損ねないような言葉かけに配慮している。 | 利用者の人格を尊重し、プライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。法人の研修やミーティング時でも機会を設けては話し合い職員の質の向上に向け取り組んでいる。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日常生活の援助の中でコミュニケーションをとり希望が自然と出てくるように声かけや、傾聴に努めている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりが出来る範囲で自分の生活を段取りそのペースが保てるように援助している。100%ではないが、その方らしく生活が出る様に努めている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している | 更衣時はその方の意向に沿ったものに出来る様に声かけしている。必要時は移動美容室の利用も行っている。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 下ごしらえや、台拭き、片付け、洗物等、できる事は参加頂いている。本人の好きな食べ物をご家族に相談し少しでも食欲のわく様なメニュー、調理法など検討している。 | 利用者の出来る事は一緒に支援している。献立は法人の管理栄養士が栄養管理を基に立てている。月2回はパン食にしている。全員での外食支援はないが個別支援はある。食事が楽しむことの支援を検討している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 水分摂取の難しい方は、本人の好む物を家族と協力の上準備して飲んでもらっている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 声かけにて一緒に洗面所に立ち口腔ケアを援助している。その方に必要な口腔ケア用品を準備している。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | プライバシーを大切に状況に合わせてトイレ誘導を行いトイレでの排泄を援助している。 | 排泄チェック表を作成し個々の排泄パターンを把握し、排泄の自立に向けた支援を行っている。日中は自立している利用者も多く、職員のさりげない声掛け誘導で維持できるよう支援している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 適度な水分摂取、運動、食事形態の工夫を個々に応じて支援している。必要時は主治医に相談したり、下剤を使用している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している | 入浴拒否のある方は、衣類のかえ、心身の気持ちのよさなど声かけし、入浴の支援をしている。 | 基本的には週3回であるが希望があればいつでも入浴は出来る。入浴を拒否される場合は無理強いしないで、言葉かけや時間帯の変更で気持ち良く入浴出来る様に工夫している。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | リビングのソファや、居室などご自分の体調や気分合わせて過ごしたい所で、自由にその日を過ごして頂いている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 症状の変化に配慮し主治医との連携を密に服薬の支援に努めている | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 利用者の高齢に伴い負担にならぬ様、散歩、ドライブ、花見、料理の下ごしらえ、洗濯物畳みなど手伝っていただき、気分転換の支援に努めている。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 季節ごとにドライブやピクニックをしている。ご家族で出かけられることもある。サロンへも参加している。 | 利用者の健康状態や天候に配慮しながら、日常的には周辺への散歩や庭園に出て外気浴を楽しんでもらったり、家族支援でお盆に自宅へ帰る利用者もいる。ユニット毎または全員で花見や・初詣や買い物、また個別には買い物やドライブにとホームに閉じこもらない生活を支援している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>現在1名の方がお金を所有されている。必要な物がある場合などはその方自身に尋ね、お金を頂くこともある。</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p> | <p>電話をかけたいと希望があればその都度対応している。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>壁画は定期的に変更し、玄関等にも毎日ではないが、花を生けて目で楽しんでもらうようにしている。また、リビング・脱衣所に温室時計を設置して快適に過ごせるようにしている。</p> | <p>広いリビングは明るく開放感に溢れている。台所はオープンで利用者の様子が伺え、利用者は調理の準備の様子や匂いからは五感を刺激され生活感を感じることが出来る。壁には文化祭へ出品している手作り作品が飾られている。</p> | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>リビング、ダイニングにご自分の決められた場所があり、思い思いに過ごして頂いている。となりのユニットにお互い自由に行き来できる。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>本人様の使い慣れた物を居室に持ってきて頂いている。写真を飾ったり、明るい居室作りに努めている。本人様の動きやすい配置に配慮している。</p> | <p>居室のほとんどの物は、利用者が使い慣れた寝具・テレビ・タンス・ラジカセ等を持ち込んでもらっている。また家族の写真や遺影・ご自身の手作り作品を壁やタンスに飾っている。プライバシーを大切にしながら、自宅と変わらない畳敷きにし、本人が落ち着いて居心地よく過ごせる工夫をしている。</p> | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>トイレには入っているか否かわかるようにし、居室にも鈴をつけるなど本人にわかるよう、また自身の力で他者を呼べるようしている。</p> | / | / |

V アウトカム項目

| | | | |
|----|---|---|---------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | | 1 ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2 利用者の2/3くらいの |
| | | ○ | 3 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4 ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | | 1 毎日ある |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | ○ | 3 たまにある |
| | | | 4 ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | ○ | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | ○ | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1 ほぼ全ての家族と |
| | | | 2 家族の2/3くらいと |
| | | ○ | 3 家族の1/3くらいと |
| | | | 4 ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1 ほぼ毎日のように |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | | 3 たまに |
| | | ○ | 4 ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | | 1 大いに増えている |
| | | | 2 少しずつ増えている |
| | | ○ | 3 あまり増えていない |
| | | | 4 全くいない |

| | | | |
|----|------------------------------------|---|---------------|
| 66 | 職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | | 1 ほぼ全ての職員が |
| | | | 2 職員の2/3くらいが |
| | | | 3 職員の1/3くらいが |
| | | ○ | 4 ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1 ほぼ全ての家族等が |
| | | ○ | 2 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |